

原田憲太郎 JCI 会頭メッセージ「東日本大震災について」

日本の青年会議所メンバーの皆様へ

この度の東日本大震災において被災された皆様に衷心よりお見舞い申し上げます。今なお続く強い余震、ライフラインの断絶、そして原子力発電所の危機と、被災状況の全容把握どころか更に災害が広がっているこの深刻な事態は、世界中の人々に大きな衝撃をもって受けとめられています。

こうした状況の中、被災地では各地青年会議所のメンバーの皆様が自らも被災した立場であるにも関わらず、被災者の救援と地域の復興に心血を注いでいらっしゃることに心から敬意を表し、また全力で応援させて頂きたいと思っております。そして、日本 J C I では福井会頭の機敏なリーダーシップの下、災害対策本部が設置され、地区協議会・ブロック協議会の皆様と共に昼夜を問わず情報収集と支援物資の調達・配送の努力が成されておりますことは、被災地の皆様への大きな支援の力となっていることと確信しております。被災地以外の全国の同士の皆様におかれましても、それぞれに出来る支援を必死に考え行動に移して頂いておりますことに J C I 会頭として心からの感謝を申し上げたいと思っております。

今週から公式訪問を再開いたしておりますが、全ての政府・公共機関で半旗を掲げて犠牲に遭われた方々への弔意を示して頂いた国がありました。また、世界中のメンバーからお見舞いと励ましのメッセージが無数に届いておりますこと、皆様にお伝えさせて頂きたいと思っております。その多くが、「今こそこれまで日本にお世話になった恩に報いたい」、「日本という国が必ずもう一度立ち上がり復興を成し遂げると信じている」というメッセージであります。世界中のメンバーが、そして市民がそれぞれの国の災害支援ネットワークを通じて日本を応援してくれていることは、私たちが前へと進んでいく大きな励みであります。J C I としても各国への支援のお願い、特に J C I オペレーションホープを通じた復興支援に取り組んでまいります。

まだまだ予断を許さない状況が続く中、正念場が続いておりますが、まずは皆様ご自身が二次被災に遭われませんよう、そしてくれぐれもお身体に気をつけてくださいますようお願いを申し上げます。皆様の安全を何よりも祈念いたしております。力を合わせて頑張りましょう。

2011年度 J C I

会頭 原田憲太郎